

-Index- 第13回聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会  
第23回養護教諭セミナー  
「障害者差別解消法」の改正について  
VUEVO（ビューボ） — 言葉が見える、会話が分かる —



## 夏の公開講座①

### 第23回養護教諭セミナー（聴覚に関する知識と実践）

（定員30名）

養護教諭セミナーは、本校通学区域の学校園の養護教諭の先生方を対象に、聴力測定や聴覚管理、その他聴覚に関わる知識や技能、情報交換の場を提供することを目的に、毎年夏季休業中に開催しています。

<1>期日 令和6年 **8月1日（木）**

<2>対象 大阪市・守口市内の学校園の養護教諭  
大阪府下の支援学校の養護教諭

<3>プログラム

13:00 ~ 受付

13:10 ~ 13:15 開会式

13:15 ~ 14:15 講座1「耳鼻咽喉科疾患の基礎と人工聴覚器の最近の動向」  
にしむら耳鼻咽喉科クリニック 西村将人先生

本校で耳鼻科校医を務めていただいている西村将人先生より、養護教諭の先生方を知っていただきたい耳鼻咽喉科疾患に関する基礎的なお話をしていただきます。また、医学的なお立場から人工聴覚器の最近の動向についても情報を提供していただきます。

14:25~15:25 講座2「人工内耳とわたし〜きこえる世界ときこえない世界の狭間で〜」  
本校小学部教諭 池田 裕城

人工内耳の装用者である本校の教員が人工内耳の手術時のことや、きこえに関すること、成長段階それぞれでの人との関わりについて、自身の経験をお話しします。人工内耳についての理解をより深める機会にしていきたいと思っております。

15:40 ~ 16:30 講座3「情報交換会」

16:30 ~ 終了後、聴能室見学・個別相談（希望者のみ）

## 夏の公開講座②

### 第13回聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会

（定員30名）

聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当されている教職員の方々を対象にした研修会を開催します。きこえにくい子どもの「ことば」に焦点を当てた全体講座のほか、4つの選択講座を予定しています。ぜひご参加ください。

<1>期日 令和6年 **8月5日（月）**

<2>対象 大阪市および守口市内の学校園、大阪府下の高等学校・支援学校に在籍する  
聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教職員

<3>プログラム

13:00 ~ 受付

13:10 ~ 13:15 開会式

13:15 ~ 14:15 全体講座「きこえにくい子への様々なアプローチ

〜ことば（英語）の獲得を中心に〜」

兵庫教育大学 准教授 中島武史先生

聴覚支援学校の中学部と高等部で、英語科担当教員としてきこえにくい子に関わってこられた経験から、幼少期にどのようなことばの獲得が必要なのか、思春期の生徒たちへの関わりについてお話をさせていただきます。また、英語科の指導や支援についてもお話しさせていただきます。



14:30 ~ 15:30 選択講座

A 自立活動の学習を通して	B 発音指導	C きこえと補聴機器	D 手話
本校中学部での自立活動の学習内容を紹介します。自立活動の学習をしていく中での生徒たちの変容についてもお話します。	発音のしくみや発音要領（母音・子音）について紹介しながら、実践研修をします。	「きこえのしくみ」と、補聴器や人工内耳などの補聴機器についての基礎的な内容を紹介します。	学校園の生活によく出てくる単語を中心に手話表現を紹介し、一緒に練習します。

15:45 ~ 16:45 実践交流会

## 共通事項（夏の公開講座①②）

- ・詳細については、各校園に案内を送付もしくはメール配信しております。
- ・添付の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、郵送か遞送、またはFAXにてお申し込みください。
- ・締め切り **7月12日（金）必着**（定員になり次第、締め切ります）
- ・参加を受け付けた方には、FAXもしくはメールで連絡します。定員を超えて受け付けられない場合には、個別に連絡します。
- ・名札とスリッパをご持参ください。

夏の公開講座については、本校ホームページにも案内を掲載しています。こちらのQRコードからも案内へのアクセスが可能です。

「本校ホームページ」→「地域支援」→「研修会の開催」

<https://www2.osaka-c.ed.jp/osakachuo-c-s/post-88.html>



## 「障害者差別解消法」の改正について

令和3年に『障害者差別解消法』が改正され、事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されました。そして、令和6年4月1日からは、合理的配慮の提供が義務化されました。障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会（共生社会）の実現に向けて、新たに動き始めています。

### 改正後

	行政機関等	事業者
不当な差別の取り扱い	禁止	禁止
合理的配慮の提供	義務	<b>努力義務⇒義務</b>

不当な差別的取り扱い

**禁止**

- 障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として、サービスの提供を拒否することや、サービスの提供に当たって場所や時間帯を制限すること、障がいのない人には付けられない条件を付けることなどは禁止されています。

## 合理的配慮の提供

★令和6年4月1日から事業者も義務

- 障がいのある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。
- 障がいのある人から、社会の中にあるバリアを除くために何らかの対応を必要としているとの意思が示されたときには、負担が重すぎない範囲で対応することが求められます。
- 「合理的配慮の提供」に当たっては、障がいのある人と事業者が話し合い、お互いに理解し合いながら共に対処案を検討することが重要です。

### 合理的配慮の提供における留意点（対話の際に避けるべき考え方）



前例がありません

合理的配慮の提供は個別の状況に応じて柔軟に検討する必要があります。前例がないことは断る理由にはなりません。

特別扱いはできません

合理的配慮は障がいのある人もない人も同じようにできる状況を整えることが目的であり、「特別扱い」ではありません。



もし何かあったら・・・

漠然としたリスクだけでは断る理由になりません。どのようなリスクが生じ、そのリスク低減のためにどのような対応ができるのか、具体的に検討する必要があります。

〇〇障がいのある人は・・・

同じ障がいでも程度などによって適切な配慮がことなりますので、ひとくくりにせず個別に検討する必要があります。

（参考）内閣府リーフレット

[https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai\\_leaflet-r05.html](https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai_leaflet-r05.html)



# 「誰が話しているか分からない」を解決！ 言葉が見える、会話が分かる

## VUEVO (ビューボ)

発言内容を文字化する新しいサービス「VUEVO」をご存じでしょうか？今回、開発会社の方に記事の執筆をお願いすることができましたので、掲載します。

### 1. VUEVO 開発の経緯

発言内容をリアルタイムで文字起こすサービスは多数ありますが、「VUEVO」の特長は発言内容の文字化に留まらず、発言者の方向を把握できる点にあります。この点にこだわって開発したのは、実際に当事者の方の困りごとがあったからです。

聴覚に障がいのある方や聞こえづらさがある方が複数人と会話する状況では、補聴器や人工内耳などを使用していたとしても、声の方向がわからない、聞き分けが難しいといった課題があります。実際に、当事者にヒアリングしたところ、誰が何を話しているのか分からないために会議や雑談に参加できない、したくない、ざわざわした場所で友だちとうまくコミュニケーションを取ることができないなど、多くの困りごとが見えてきました。

### 2. VUEVO の 3 つの特徴

#### ① 誰が話しているかが直観的にわかる

一番の特徴として、「誰がどこから話しているのか」発言者の方向が直観的に分かります。会話を方向で認識し、その内容を文字変換してそれぞれの方向に表示します。さらには方向ごとに話者の名前を登録することで、誰が話しているのかも分かります。

複数人が同時に話すシーンでは、一般的な文字起こしソリューションだと、会話が混ざって文字変換が崩れてしまうことも多いのですが、VUEVO はそれぞれの発言を方向で切り分けて文字変換、表示することができます。

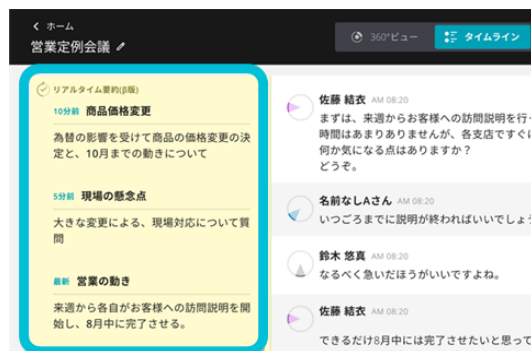


<VUEVO 使用イメージ：PC、タブレット、スマートフォンで表示可能>

#### ② 情報の遅れをなくしより自然な会話を届ける

二つ目はリアルタイムな表示です。VUEVO は発言とほぼ同時、1秒以内に発言方向と内容を表示することができます。相づちなど自然なコミュニケーションの情報も含めてリアルタイムに届けることで、会話についていだけでなく、会話のニュアンスやリズムを把握できたり、自分が発言するタイミングを掴むことにも繋がったりと、会議にも参加しやすくなります。

#### ③ Chat GPT による要約や会議の質をアップデートする先進機能



<「Chat GPT」を活用した リアルタイム要約>

三つ目は Chat GPT による要約や記録などの先進機能の搭載です。Chat GPT による要約は、会議中は5分ごとのリアルタイムの要約、終了後は会議のタイトルや概要の要約を自動で生成します。

聞き取りにかかる負担が減り、会議の内容に集中できること、要約も含め内容が記録&保存できるので、いつでも振り返りができ、より正確に内容が理解できるようになります。また、他の人をお願いする手間や心理的な負担も軽減できます。

### 3. お客様の声 & 教育現場での活用

一番多いのは「会話内容がより理解できるようになり、業務の生産性が上がった」という声です。自席での雑談に使用される方もいて、「これまでできなかった雑談への参加や、同僚とのコミュニケーションのきっかけが生まれている」とのことです。

教育現場では、大学のグループディスカッションやゼミで使用されるケースが増えてきています。学生時代からこういったツールに慣れる、自分に合ったコミュニケーションの取り方を見つけることで、社会に出てから自身の能力を最大限に発揮することにも繋がっていくのではないかと思います。

最後に、私たち VUEVO チームでは他にもスマートグラスや透明ディスプレイの開発にも取り組んでいます。今後皆さまにお披露目できる日を楽しみにしています！

(参考) VUEVO ホームページ <https://vuevo.net/>

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森  
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31  
TEL. 06-7712-1405 (支援関係) / 06-6761-1419 (学校代表)  
FAX. 06-6762-1800